

平成29年度予算編成方針

平成29年度予算編成に向けて

我が国経済の動向は、個人消費や設備投資に力強さを欠くものの、緩やかな回復基調が続いている。

このような中、国では持続的な経済成長と一億総活躍社会の実現を掲げ、補正予算と平成29年度当初予算とを合わせて総合的かつ大胆な経済対策を講ずることとしており、本格的な事業展開を迎えた地方創生についても、地方公共団体での取組を強力に推進する役割が期待されている。

一方、本市においては、平成27年度の経常収支比率をはじめとする財政指標は概ね改善し、主要基金は約146億円となり、市債残高はピーク時の約1,055億円から約610億円にまで減少させることができた。しかし、国の動向や景気の状態等の外部要因に大きく左右されやすい本市特有の財政構造に変わりにないため、将来の見通しが難しく未だ楽観視できない状況である。また、将来的な人口減少や急速に進む高齢化、都市基盤整備や老朽化した公共施設対策等の財政需要が大幅に拡大することが予想される。

その中で、昨年度に「第4次摂津市総合計画基本計画」の改定を行い、「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を行った。これまでの取組を一過性のものとすることなく、小さくてもキラリと光る魅力あふれるまちとして、住み続けたい・住んでみたいと思えるまちづくりをスピード感を持って推進することが求められている。

このような現状認識のもと、「財政健全化」「夢づくり」「人づくり」の三つを市政運営の柱に据え、4期目のスタートになる予算編成であるが、今期もぶれることなく、しっかりと先の時代を見据えながら三つの柱に沿った予算編成に取り組んでいきたい。そして、市制施行50周年を通過点に、さらに摂津が大きく飛躍するよう、今を生きる我々は何をなすべきかを考え、先人の努力が染み込んだ摂津を確実に次の世代に引き継ぐため、しっかりと足元を固めなければならない。そのため、平成29年度の予算編成にあたっては、引き続き、未来を支える「こども」、まちづくりの原点となる「安全・安心」そして「健康」に重点を置いて、豊かな暮らしを未来へとつなげる予算を編成していきたい。

平成27年度決算の特徴は、歳入では、納税義務者数の増や一部企業業績の回復基調を受け、市税収入が5年ぶりに増加に転じた。また、土地売却収入、地方消費税交付金の平年度化や普通交付税が交付されたことにより、主要基金を大幅に積立することができた。歳出では、高齢化の進展等により、扶助費が引き続き増加を続けている。そして、今年度も主要基金を取り崩すことなく実質収支を黒字としたが、これは普通交付税や土地売却収入の依存的、臨時的な収入によるものであり、脆弱な財政構造に変わりはない。今後も税制改正の動向、経済環境の変化や社会保障関連の動向等を注視していくことが必要である。

現在の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、96.4%で3.3ポイント昨年度より改善した。これは分母である経常一般財源総額が地方消費税交付金や市税収入の増収等により大きく増加したことが大きな要因であり、歳出の削減によるものではないことから、事業拡充にあたっては、ランニングコストを意識し、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、経費の圧縮に努めなければならない。

実質公債費比率は、5.3%で1ポイント昨年度に引き続き改善した。しかし、近隣市の比率に比べて大きく上回っていることから、本市の財政規模に対する市債残高はまだ多い状況である。

また、平成28年度普通交付税の算定結果は、昨年に引き続き、交付団体となった。これは、本市が国から財源保障を受けなければ標準行政が行えない普通の団体になったということであり、独自の事業を実施していくことが財政的に困難な状況にあることを意味している。今後は、既存事業の積極的な見直しを不断に行い、これからの時代に真に必要なとされる事業に転換していくための財源を確保し、社会経済の状況の変化にも的確に対応しうる強固な財政基盤を築いていかななければならない。

これらのことから、市民ニーズを的確に把握した上で、今一度、全ての事業をその根幹にまで遡り、目的、成果、解決すべき課題等を明らかにし、従来の考え方に固執することなく、職員一人ひとりが予算編成の主体となって課題に取り組まなければならない。

平成29年度予算編成に当たって、職員は現下の財政状況を十分に認識し、第5次行政改革実施計画を反映した予算要求とすること、②平成27年度決算の状況や平成28年度予算の執行状況等を十分に分析し、徹底した経費削減に努めること、③新規、拡充事業については、補助金等の活用はもとより事業の再構築などにより、必要な財源を確保すること、④歳入については、自主財源の確保、受益者負担の原則を再認識し、適正額の確保に努めること、以上4点を基本方針とする。